

募集要項

1. 職名と人員：薬学科 臨床薬学研究連携 研究室（仮称）教授 1名
2. 採用予定日：令和8年4月1日
3. 求める人物像：
「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」は改訂を経るごとに臨床指向が高まっており、医療機関における実践教育の重要性が増しています。「実務実習に関するガイドライン（令和4年度コアカリ対応）」においても、従来の22週間の実務実習に加えて8週間程度の実践実習が求められています。
本学では6年制薬学教育開始時から標準実習に加えて10週間前後の臨床実習を独自の特別コース実習として実施してまいりました。令和9年度からは、この方向性を一層充実させるために、新規に4つのアドバンス実習コース（先端医療コース、感染症薬剤師コース、薬学データサイエンスコース、グローバル薬剤師コース）を開始します。これらの新規実習コースを実施するため、本学では都立病院機構病院、大学病院などと学術協定を締結しました。
つきましては、これらの医療機関と密接に連携し、新たな教育・教育活動を推進する研究室を新設し、その中核となる教員を募集します。
4. 教育・業務内容：
 - ① 学部関係
 - a. 臨床薬学分野の講義および演習
 - b. 薬学実務実習の事前実習および実習施設担当
 - c. 卒業研究
 - d. その他、学生の教育に関連する事項
 - ② 大学院関係
 - a. 生命創薬科学専攻および薬学専攻における教育・研究指導
 - ③ その他：学内委員会業務など
5. 応募資格：
 - ① 博士の学位を有すること。
 - ② 薬剤師免許を有すること。
 - ③ 医療系学会で認定薬剤師等の資格を有すること。
 - ④ 採用後には定期的（頻度については応相談）に連携病院で教育・研究活動を実施できること。
 - ⑤ 臨床現場において学部学生および大学院生を指導できる能力を有すること。
6. 任期：任期は5年（再任可）とします。なお本学の定年は65歳です。

7. 提出書類：①は本学指定の様式、②～⑤はA4サイズで作成してください（書式自由）。日付はすべて西暦でご記入ください。
 - ① 履歴書（<https://www.my-pharm.ac.jp/news/detail/280/> に掲載している履歴書＜Wordファイル・A4サイズ2枚＞をダウンロードしてご使用ください。記入欄が不足する場合などは、適宜追加していただいて構いません。）
 - ② 業績目録
原著論文、総説、著書、学会の招待講演などに分け、それぞれ新しいものから順に記載してください。また、共著の場合はすべての著者名を掲載順に記入して、応募者本人に下線を付してください。その他に、科学研究費補助金などの競争的研究資金助成の採択実績があれば、あわせて記載してください。
 - ③ 教育歴
担当科目や役割など、新しいものから順に具体的に記載してください。
 - ④ 着任後の医療機関と連携した薬学教育・研究活動の構想（A4サイズ、1600字程度）
 - ⑤ 応募者について照会可能な方2名の氏名、所属および連絡先（電話番号及びEメールアドレス）
※選考委員が照会を行う場合があることを、ご本人から推薦者様へお伝えいただけますようお願いいたします。
8. 書類提出の締め切り：令和7年9月26日（金）（必着）
9. 書類の送付先：〒204-8588 東京都清瀬市野塩2-522-1
明治薬科大学学長 越前宏俊
（封筒の表に「臨床薬学研究連携 研究室（仮称）教員応募書類在中」と朱書き、簡易書留もしくはレターバックでご送付ください）
10. 問い合わせ先：明治薬科大学 学長室
E-mail: hisho@my-pharm.ac.jp
※応募に関するお問い合わせは原則、メールでお願い致します。
※8月5日（火）～8月17日（日）は省エネ夏季一斉休業のため、当該期間中のお問い合わせには8月18日（月）以降に回答致します。
11. その他
 - ① 第一次選考（書類選考）を通過した方には、本学にて対面形式でプレゼンテーションと質疑応答を行っていただきます。日時の詳細は対象者に別途ご連絡致します。
 - ② ご提出いただいた応募書類は、個人情報保護法に基づき厳重に管理し、本選考以外の目的には使用致しません。なお、応募書類は原則として返却致しませんので、あらかじめご了承ください。

以上